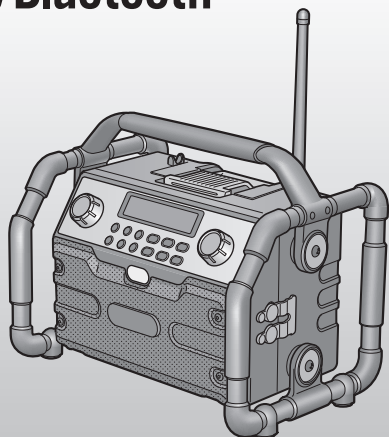


取扱説明書

充電 ラジオ & ワイヤレススピーカー

品番 **EZ37A2**

 **Bluetooth®**



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意.....	2～7
ほこり・水についてのご注意.....	8
各部のなまえ.....	9～11
・付属品・別売品.....	10～11

ご使用前に

ご使用前の準備.....	12～14
・バックアップ用乾電池と電池パックを取り付ける.....	12
・ACアダプターを取り付ける.....	13
・時刻を合わせる.....	14

準備

ご使用方法.....	15～20
・電源を入れる／切る.....	15
・音量を調整する.....	15
・ラジオを聴く.....	16～17
・Bluetooth®を搭載した機器の音楽(音声)を聴く.....	18～19
・外部機器の音声を聴く(AUX IN 接続).....	19
・音質を調整する.....	20
いろいろな使いかた.....	21～23
・アラームを設定する.....	21～22
・USB 機器を充電する.....	22
・ヘッドホン(市販)で聴く.....	23
・手元照明をつける.....	23
その他の設定.....	24～25




使いかた

無線機能使用上のお願ひ.....	26
お手入れと保管.....	27
ご愛用者登録について.....	27
電池パックについて.....	28
著作権など.....	28
仕様.....	29
故障かな?と思ったとき.....	30
保証とアフターサービス.....	33
保証書.....	裏表紙



その他




人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。
 実行しなければならない内容です。

 危険	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 当社充電工具専用の指定の充電式電池パック以外を使わない。改造した電池パック(分解して内蔵部品を交換した電池パックを含む)も使用しない。 ● 電池パックは、火への投入、加熱をしない。 ● 電池パックに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない。 ● 電池パックの端子部を金属などで接触させない。 ● 電池パックを釘などの金属と一緒に持ち運んだり保管しない。 ● 電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない。 ● 劣化した電池パックは使用しない。 発熱・発火・破裂のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池パックは専用充電器以外では充電しない。 電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体または充電器からはずした後は、電池パックにパックカバーを必ず取り付ける。 取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。



警告




 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする。 <ul style="list-style-type: none"> ● 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。 ● 液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流したあと、医師にご相談ください。 ● 液漏れした電池パックは、使用を中止し、火に近づけないようにしてください。すぐに販売店にご相談ください。 ● ACアダプターの電源プラグは根元まで確実に差し込む。 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。 <ul style="list-style-type: none"> ● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。 ● ACアダプターの電源プラグのほこり等は定期的にとる。 プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。 <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。 ● 指定の付属品やアタッチメントを使用する。 守らないとけがをするおそれがあります。 ● 本機や使用機器から異音や異常な発熱、異臭を感じたらすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電池パックをはずし、お買い求めの販売店へ点検・修理を依頼する。 そのまま使用を続けると発煙・発火・破裂のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない。 たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。 ● 本機内部に指定外のものや水などを入れない。 金属類や燃えやすいもの、水などが入ると、感電や火災の原因になります。 ● 電源コード・プラグを破損するようなことはしない。(傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、束ねたりしない) 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。 コードやプラグは定期的に点検し、破損している場合は販売店にご相談ください。 ● 本体や電池パックから発煙したときは、煙を吸い込まない。 身体に害を及ぼすおそれがあります。
	 禁止

 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで本機を使用しない。 本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 病院内や医療用電気機器のある場所で本機を使用しない。 本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22 cm以内で本機を使用しない。 本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● バックアップ用乾電池は誤った使いかたをしない。 <ul style="list-style-type: none"> ● 指定以外の電池を使わない。 ● 乾電池は充電しない。 ● 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない。 ● ⊕と⊖を針金などで接続しない。 ● 金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に保管しない。 ● ⊕と⊖を逆に入れない。 ● 新・旧電池や違う種類の電池を一緒に使わない。 ● 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておく。 ● 被覆のはがれた電池は使わない。 取り扱いを誤ると、液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。 もし、液漏れした場合には、バックアップ用乾電池収納部に付いた液をよくふき取ってください。 万一、漏れた液体が体に付いたときは、水でよく洗い流してください。 <ul style="list-style-type: none"> ● 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。




 警告	
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● 使い切った電池は、すぐに機器から取り出す。 そのまま機器の中に放置すると、電池の液漏れや、発熱・破裂の原因になります。
 接触禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない。 感電の原因になります。
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 改造はしない。また、分解したり修理をしない。 火災・感電・けがのおそれがあります。 修理はお買い上げの販売店または、当社ご相談窓口にご相談ください。
 水ぬれ禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 雨中や、湿ったまたはぬれた場所で、使用しない。 感電や発煙のおそれがあります。
 ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● ぬれた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししない。 感電のおそれがあります。
 電源プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。 守らないと絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

ご使用前に

 注意	
 禁止	● 指定された用途以外に使用しない。 けがをするおそれがあります。
	● LEDライトを懐中電灯として使用しない。 十分な明るさを確保していないため、このライトを使って暗い場所を移動すると事故のおそれがあります。
	● LEDライトの光を直接目に当てない。 LEDライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。
	● 子供の手の届くところに置かない。 事故やトラブルのおそれがあります。
	● 本体や電池パックに油など異物がついた状態で使用しない。 本体や電池パックが落下して事故になるおそれがあります。 また、内部に油などの異物が入ると、発熱・発火・破裂のおそれがあります。
	● 異常に温度が高くなるところに置かない。 温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。 ・密閉した自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。 ・また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。
	● 極端に寒い場所に置かない。 結露により、漏電・焼損の原因になることがあります。
	● スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない。 スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。 ・スピーカーは防磁設計ではありません。テレビ等の近くに置かないでください。
	● アンテナを目や顔に近づけない、人に向けない。 アンテナの先端に接触して、けがの原因になることがあります。 ・アンテナを立てて使用するときは、十分注意してください。
	● 本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない。 倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。 また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

 注意	
 禁止	● 不安定な場所に置かない。 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない。 倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
 必ず守る	● ACアダプターの電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。 コードを持って抜くと感電・ショートの原因になります。
	● 外部機器を接続する場合、事前に必ずバックアップしておく。 万一の場合に備えて、ご使用になる携帯機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。 接続した携帯機器の内部データが(予測できない問題により)破損・消失する可能性があります。

聴覚を保護するために

 注意	
 禁止	● ヘッドホンやイヤホンを使用するときは、音量を上げすぎない。 片側のヘッドホンをはずし、はずした方から聞こえてくる通常の話し声と同じ程度に聞こえるように音量をあわせてください。
 必ず守る	● 聴覚が順応するままに音量を上げない。 音量には慣れがあります。聴覚が大音量に慣れてしまう前に音量を安全な大きさに調整してください。
	● 音量を下げてから電源を切る。 突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴覚障害の原因になることがあります。
	● 長時間連続で使用せず、耳を休ませるために必ず休憩をとる。 一般的に安全な音量であっても長時間長期にわたって音を聞き続けた場合、聴覚障害を引き起こす場合があります。
	● 耳の調子に違和感を感じたら、すぐに使用を中止し、医師に相談する。 そのまま使用を続けると、症状が悪化する場合があります。

ご使用前に

ほこり・水についてのご注意

- 本製品はほこりや水に対する影響が小さく抑えられるように設計されていますが、ほこりや水によって故障しないことを保証しておりません。
取り扱いに注意してください。
過度なほこりがあるところ、水中、雨にさらされる場所では使用しないでください。
- 通常の使用において発生する製品または材料の欠陥に起因する故障のみ保証対象となります。
改造、事故、誤用、本体内部への液体・異物混入、乱用、設置における無視、不適切な調整、不適切なメンテナンス・補修、取扱説明書に準じない使用は、保証対象外です。
(保証対象・期間につきましては、保証書をご確認ください。)
- 本機に電池パックを装着した状態で、国際規格 (IEC 60529) に規定された IP64 の保護等級に要求される試験を認証機関で実施し合格しております。
(ACアダプターを接続せず、すべてのカバーを閉めた状態。)

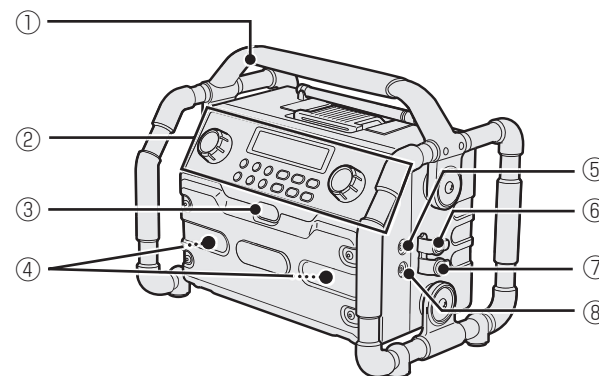
< IP 保護等級の例 >

IP 6 X	じんあいの侵入がないように配慮しています。
IP X 4	あらゆる方向からの水の飛まつによっても有害な影響を受けないように配慮しています。 付属の AC アダプターは防滴仕様ではありません。 (常温の水道水にて本機から約 1 m 離れて、あらゆる方向から約 4.3 L/分の水を 10 分間複数のノズルから散水したあと、本機が動作することに対応しております。)

各部のなまえ

本体

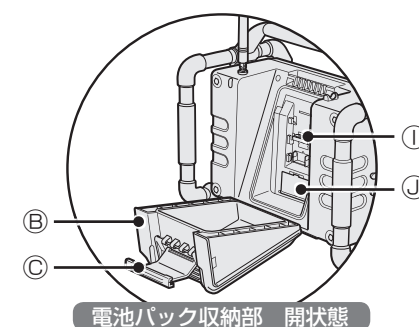
■ 前面



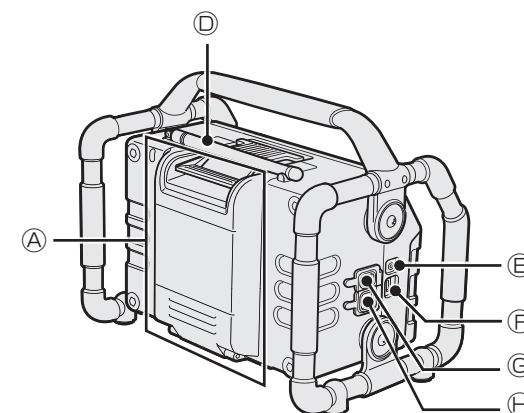
①	プロテクトフレーム
②	操作パネル
③	LEDライト
④	スピーカー

⑤	ヘッドホン接続端子
⑥	ヘッドホン接続端子カバー (Ω)
⑦	ACアダプター接続端子カバー (DC IN)
⑧	ACアダプター接続端子

■ 後面



電池パック収納部 開状態

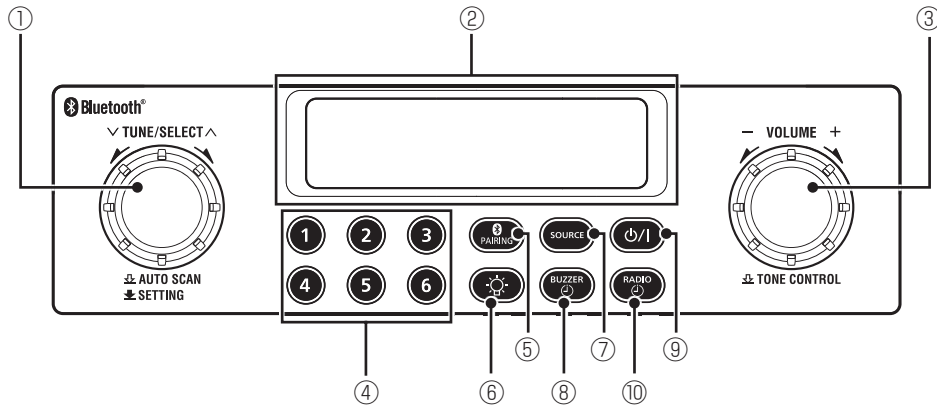


Ⓐ	電池パック収納部
Ⓑ	電池パック収納カバー
Ⓒ	電池パック収納カバー用ロック
Ⓓ	アンテナ (FM 放送用)
Ⓔ	外部入力端子 (AUX IN)

Ⓕ	USB 充電端子
Ⓖ	外部入力端子カバー (AUX IN)
Ⓗ	USB 充電端子カバー (CHARGE)
Ⓛ	電池パック装着部
Ⓜ	バックアップ用乾電池収納部

各部のなまえ (つづき)

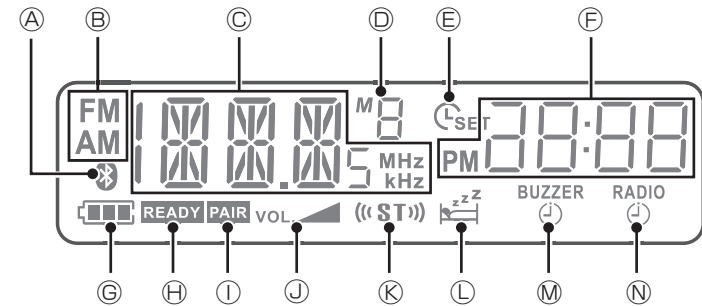
■ 操作パネル



①	選局/選択ダイヤル
②	液晶表示部
③	音量ダイヤル
④	プリセットボタン
⑤	Bluetooth ボタン

⑥	ライトボタン
⑦	SOURCE ボタン
⑧	アラーム (ブザー) ボタン
⑨	電源ボタン
⑩	アラーム (ラジオ) ボタン

■ 液晶表示部

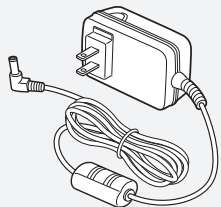


Ⓐ	Bluetooth 接続時に点灯します。
Ⓑ	FMまたはAM放送受信時に点灯します。
Ⓒ	各種情報を表示します。
Ⓓ	プリセット番号を表示します。
Ⓔ	時刻の設定時に点灯します。
Ⓕ	時刻を表示します。
Ⓖ	電池パック残量を表示します。
Ⓕ	Bluetooth 接続待機時に点灯します。

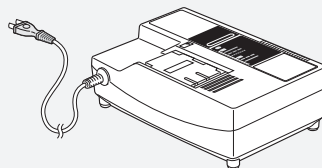
Ⓘ	ペアリング中に点灯します。
Ⓙ	ボリューム設定時に点灯します。
Ⓚ	ステレオ受信時に点灯します。
Ⓛ	スリープ作動中およびスヌーズ作動待機時に点灯します。
Ⓜ	アラーム (ブザー) の設定時、またはON時に点灯します。
Ⓝ	アラーム (ラジオ) の設定時、またはON時に点灯します。

付属品

■ ACアダプター

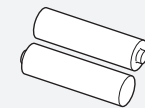


■ 専用充電器 (EZOL81)



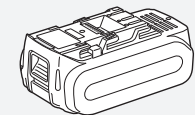
別売品

■ バックアップ用乾電池 (市販品)



単3形 2本

■ 電池パック (適合電池パックは P. 29 『電池パック』をご参照ください。)



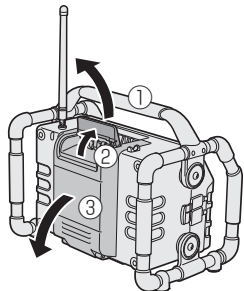
ご使用前の準備

バックアップ用乾電池と電池パックを取り付ける

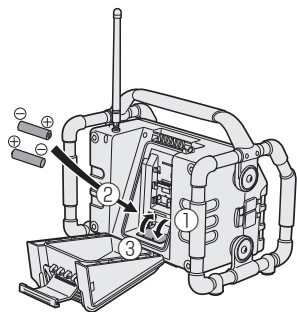
電池パックやACアダプターを抜いたときに、バックアップ用乾電池を入れておくと、時刻や登録した内容を保持することができます。(単3形乾電池(2本)を別途お買い求めください。)

別売りの充電式電池パックを取り付けるとコンセントがない場所でも本機を使用することができます。

1 アンテナを立て、電池パック収納カバー用ロックをはずし、電池パック収納カバーを開ける



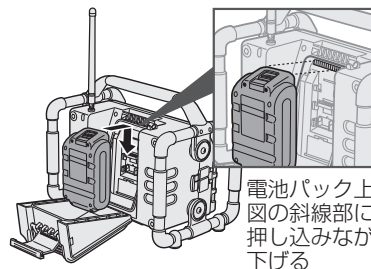
2 バックアップ用乾電池カバーを開け、単3形乾電池を2本入れ、バックアップ用乾電池カバーを閉じる



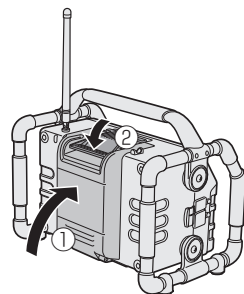
乾電池の⊕の⊖に注意し、装着部面に記載している方向に合わせてください。

- 電極(⊕⊖)をまちがえると、故障の原因となります。
- 古い乾電池と新しい乾電池を混合して使用しないでください。

3 電池パックを「カチッ」と音がるまでしっかりと装着する(適合電池パックは P. 29『電池パック』をご参照ください。)



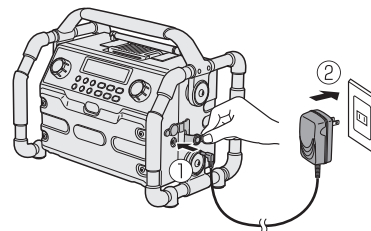
4 電池パック収納カバーを閉じてロックする



ACアダプターを取り付ける

付属のACアダプターで交流100Vの家庭用コンセントから電源を取ることができます。

- 1 本機右側面のACアダプター接続端子カバー(DC IN)を開き、ACアダプターを接続する
- 2 ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込む



お知らせ

- ACアダプターと電池パックを同時に使用したときにはACアダプターが優先されます。電池パック側は消費されません。
- 本機には充電機能がありませんので、ACアダプターと電池パックを同時に使用しても電池パックは充電されません。

お願い

- ACアダプターは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器のACアダプターを本機に使用しないでください。
- 長期間使用しない時は、ACアダプターをコンセントから抜いておくことをおすすめします。本機の電源を入れていない時でも電力を消費しています。

時刻を合わせる

時刻は、液晶表示部に表示されます。お買い上げ時の設定は「24H (24時間表示)」です。時刻表示 (12H/24H) の切り替えは、**P. 24**『その他の設定』をご参照ください。

1 電源を入れる

P. 15『電源を入れる／切る』をご参照ください。

2 【選局ダイヤル】を長押しする

「ピッ」と音がして項目選択モードになります。

3 【選局ダイヤル】を回す

液晶表示部に「CLK」が表示されるようにダイヤルで合わせてください。

4 【選局ダイヤル】を押す (設定モード)

5 時刻を設定する

【選局ダイヤル】を回して「時」「分」の順に設定してください。「時」が設定できたら【選局ダイヤル】を押し「分」を設定してください。「分」が設定できたら最後に【選局ダイヤル】を押し設定を終了させてください。「ピッ」と音がすれば設定完了です。

6 を選択して【選局ダイヤル】を押す (通常表示状態)

お知らせ

- アラームの作動には、時刻の設定が必要です。
- バックアップ用乾電池をはずす、または、電池残量がなくなると設定内容はリセットされます。
- 時計精度は、室温で月差約±60秒です。
- 設定完了後、数秒で項目選択モードに戻ります。
- 10秒間操作がないと通常表示状態に戻ります。

電源を入れる／切る

お願い

- 電源を切る際は、音量を下げてください。次回、電源を入れた際に大きな音がでる場合があります。

■ 電源を入れる

【電源ボタン】を長押しする

「ピッ」と音がして電源が入り、液晶表示部が点灯します。
(通常表示状態)






■ 電源を切る

【電源ボタン】を長押しする

「ピッ」と音がして電源が切れ、液晶表示部が消灯します。

■ 電池パック残量の表示

液晶表示部に電池パックの電池残量が表示されます。

電池パック 残量表示	残量の目安
 3本点灯	十分残量があります。
 2本点灯	約半分程度残量があります。
 1本点灯	残量が少なくなっています。早めに充電してください。
 外枠のみとなり点滅	全く残量がありません。すぐに充電してください。
 外枠のみとなり点灯 (電源OFF状態)	

音量を調整する

【音量ダイヤル】を回す

+方向へ回すと音が大きく、-方向へ回すと音が小さくなります。

- 液晶表示部に **vol.**  が点灯し、「00」～「50」でボリュームレベルが表示されます。

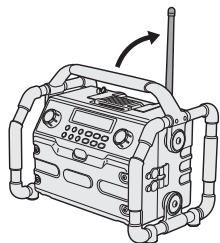
ご使用方法 (つづき)

ラジオを聴く

本機は、手動選局、AUTO 選局、登録選局の3通りの選局方法があります。

お願い

- FM 放送を受信する場合は、アンテナを立ち上げてください。(AM 放送用のアンテナは、本機に内蔵されています。)



■周波数を手動で合わせる

放送局の周波数に手動で合わせて、放送を聴くことができます。

1 【SOURCE ボタン】を押して、「FM」または「AM」に切り替える

液晶表示画面に現在のソースが表示されます。

2 【選局ダイヤル】を回して、手動で周波数を設定する

ステレオ放送を受信すると液晶表示部に「(ST)」が表示されます。

●自動で周波数を設定するには (AUTO SCAN 機能)

周波数を手動で設定中に【選局ダイヤル】を押してください。
※長押しすると項目選択モードになります。

- 受信感度が強い周波数で AUTO SCAN が止まります。
- 周囲に妨害電波があると、放送を受信しなくても AUTO SCAN が止まることがあります。

●【プリセットボタン】に登録するには

3 受信状態で、【プリセットボタン (①~⑥)】を長押しする

「ピッ」という音がして、受信中の周波数が【プリセットボタン (①~⑥)】に登録されます。(AM で 6 局、FM で 6 局を登録できます。)

■登録選局

お気に入りの放送局を登録して簡単に聴くことができます。

1 【SOURCE ボタン】を押して、「FM」または「AM」に切り替える

2 【プリセットボタン (①~⑥)】を押す

登録している周波数を受信します。

お知らせ

- 登録した【プリセットボタン (①~⑥)】は、再度上書き登録することで変更できます。

■ステレオ/モノラルを切り替える

FM ステレオ放送で雑音が多いときは、ステレオ放送からモノラル放送に切り替えることでノイズを減らすことができます。

1 【選局ダイヤル】を長押しする

「ピッ」と音がして項目選択モードになります。

2 【選局ダイヤル】を回す

液晶表示部に「FM」が表示されるようにダイヤルで合わせてください。

3 【選局ダイヤル】を押す (設定モード)

ステレオ/モノラル切り替えモードになります。

4 【選局ダイヤル】を回して、「MN」(モノラル)に合わせるから【選局ダイヤル】を押す

「ピッ」と音がすれば設定完了です。

5 $\uparrow\downarrow\uparrow$ を選択して【選局ダイヤル】を押す (通常表示状態)

お知らせ

- お買い上げ時の設定は、「ST」(ステレオ)です。
- 設定完了後、数秒で項目選択モードに戻ります。
- 10 秒間操作がないと通常表示状態に戻ります。

ご使用方法 (つづき)

Bluetooth を搭載した機器の音楽 (音声) を聴く

Bluetooth に対応した機器を本機に登録、接続すると、機器の音楽などをワイヤレスで楽しむことができます。

お願い

- Bluetooth 搭載機器の詳細は、機器に付属の取扱説明書もお読みください。

Bluetooth 搭載機器を登録・接続する

1 【SOURCE ボタン】を押して、「BT」に切り替える

初めて登録する場合→手順2へ
既に登録済みの場合→手順3へ

2 【Bluetooth ボタン】を長押しする

液晶表示部に「PAIR」が点灯し、登録待機状態になります。

Bluetooth が点灯している場合は、他の Bluetooth 搭載機器が接続されています。解除するために長押ししてください。登録待機状態になります。

3 Bluetooth 搭載機器の設定をする

Bluetooth 搭載機器に付属の取扱説明書にしたがってペアリングができる状態にしてください。

4 Bluetooth 搭載機器側で Bluetooth の接続画面などを開き、「EZ37A2」を選んで接続する

機器が登録されると、「READY」マークが点灯し、その後 Bluetooth が点灯します。

お願い

- パスキーの入力を要求されたときは、「0000」を入力してください。
- つながりにくい場合は、再度手順1から操作してください。

5 Bluetooth 搭載機器で音楽などを再生する

Bluetooth 搭載機器で再生した音楽などが本機のスピーカーで聴くことができます。

お知らせ

- スマートフォンなどの通信機器の Bluetooth 接続での音声再生中に着信すると、自動的に再生を停止します。通話が終了すると、自動的に再生を開始します。

● オートペアリング機能

【SOURCE ボタン】を押して、「BT」以外を選ぶと、Bluetooth 接続は解除されますが、再度「BT」を選ぶと、ペアリングをしなくても一度接続した機器は再接続されます。

● マルチペアリング機能

本機に登録できる Bluetooth 搭載機器は最大8台です。ただし、同時に接続できる Bluetooth 搭載機器は1台です。

お知らせ

- 最大登録数を超過して登録すると、古い登録から上書きされます。
- 一度ペアリングすれば再ペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。
 - 修理を行ったなどペアリング情報が消去されてしまったとき。
 - 9台以上の機器とペアリングし、ペアリング情報が上書きされ、消去されたとき。

外部機器の音声を聴く (AUX IN 接続)

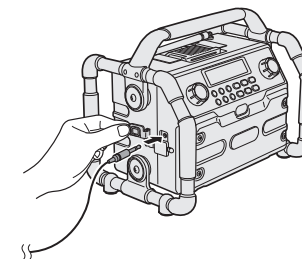
外部機器と接続で再生した音楽などが本機のスピーカーで聴くことができます。

お願い

- 外部機器に付属の説明書もお読みください。
- 外部機器または本機の音量が大きすぎると音割れを起こしますので、外部機器または本機の音量を下げてください。

1 本機左側面の外部入力端子カバー (AUX IN) を開き、外部機器を接続する

市販のφ3.5ステレオミニプラグのケーブルをお使いください。



2 【SOURCE ボタン】を押して、「AUX」に切り替える

3 外部機器で音楽などを再生する

ご使用方法 (つづき)

音質を調整する

【音量ダイヤル】を押すと、音質を調整する項目選択モードになります。

表示名

「TON」モード: あらかじめプリセットされた5つのトーン状態を選べます。

「BAS」モード: 低音域を、好みに合わせて調整できます。

「TRE」モード: 高音域を、好みに合わせて調整できます。

■「TON」モード

1 【音量ダイヤル】を「TON」に合わせて、【音量ダイヤル】を押す

2 【音量ダイヤル】を回し、プリセット状態(TN1～TN5)を選ぶ

3 【音量ダイヤル】を押して、確定する
数秒後に、「TON」表示に戻ります。

4 $\uparrow\downarrow\uparrow\downarrow$ を選択して【音量ダイヤル】を押す
(通常表示状態)

●おすすめの設定

表示名	トーン状態の内容
TN1	FLAT: 全音域をバランスよくした音質
TN2	HEAVY: メリハリ感を強調とした音質
TN3	SOFT: 高い音を抑えた音質

表示名	トーン状態の内容
TN4	CLEAR: 高音部を鮮明にした音質
TN5	VOCAL: 人の声を聞きやすくした音質

■「BAS」、「TRE」モード

1 【音量ダイヤル】を回し、「BAS」または「TRE」に合わせて、【音量ダイヤル】を押す

2 【音量ダイヤル】を回し、「B+3」から「B-5」、または、「T+3」から「T-5」を選ぶ

3 【音量ダイヤル】を押して、確定する

4 $\uparrow\downarrow\uparrow\downarrow$ を選択して【音量ダイヤル】を押す
(通常表示状態)

お知らせ

- 「TON」モードでプリセットを選択すると、そのプリセットでの設定値が反映されています。
- 「TON」モードは、おすすめの設定であり、曲によっては「BAS」、「TRE」モードにてお好みの音質に設定し、お楽しみください。
- 設定完了後、数秒で項目選択モードに戻ります。
- 10秒間操作がないと通常表示状態に戻ります。

いろいろな使いかた

アラームを設定する

設定した時刻にラジオ放送やブザーを鳴らします。

お知らせ

- 時刻を設定しないと、アラームは設定できません。
- アラーム作動中はLEDライトも点滅します。
- 設定した音量まで徐々にあがります。
- ラジオ放送とブザーを同時刻に設定した場合、ラジオ放送が優先されます。
- ラジオ放送の受信状態が悪いときは、ブザーのアラームになります。
- お買い上げ時、アラームの作動時間は5分、スヌーズ機能はOFFです。
P. 24 『その他の設定』をご参照ください。
- お買い上げ時の設定は、アラーム(ラジオ)が「6:00」、アラーム(ブザー)が「7:00」です。
(アラームをONにしないとアラームは鳴りません。)

■アラームのON/OFFを切り替える

【アラーム(ブザー)ボタン】、【アラーム(ラジオ)ボタン】を押す
設定内容を表示しアラームがONとなります。
液晶部にアラームマークが点灯します。
もう一度押すと、アラームはOFFになり、アラームマークも消灯します。

■アラームをとめる

【電源ボタン】を押す

お知らせ

- スヌーズ設定時は、【電源ボタン】以外のボタンを押すことで一時的にアラームはとまりますが、設定時間後に再度アラームが鳴ります。

■アラームの内容を設定する

※設定時は、アラームをOFFにしてください。

●アラーム(ラジオ)

1 【アラーム(ラジオ)ボタン】を長押しする

アラーム(ラジオ)マークが点滅し、設定モードになります。

2 【選局ダイヤル】を回し、アラームの作動開始時刻を設定し、【選局ダイヤル】を押す

「時」、「分」とも同じ操作で設定してください。

3 【選局ダイヤル】を回し、ソース(AM/FM)を設定し、【選局ダイヤル】を押す

4 【選局ダイヤル】を回し、周波数を設定し、【選局ダイヤル】を押す
プリセットボタンの登録周波数も選択できます。

5 【選局ダイヤル】を回し、音量を設定し、【選局ダイヤル】を押す
「ピッ」と音がすれば設定完了です。

● アラーム (ブザー)

1 【アラーム (ブザー) ボタン】を長押しする

アラーム (ブザー) マークが点滅し、設定モードになります。

2 【選局ダイヤル】を回し、アラームの作動開始時刻を設定し、【選局ダイヤル】を押す

「時」、「分」とも同じ操作で設定してください。

3 【選局ダイヤル】を回し、音量を設定し、【選局ダイヤル】を押す

7段階 (BU1 ~ BU7) で調整できます。「ピッ」と音がすれば設定完了です。

お知らせ

- 設定完了後、数秒で通常表示状態に戻ります。
- 10秒間操作がないと通常表示状態に戻ります。

USB 機器を充電する

スマートフォンなどのUSB 機器を充電できます。

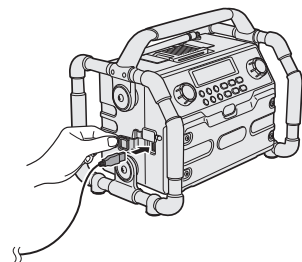
お知らせ

- AM 放送受信時は、USB 機器の充電はできません。

お願い

- 接続機器への給電専用です。(定格 5 V/1 A)
- 定格 5 V/1 A を超える機器を本機に接続しないでください。故障の原因になります。
- USB 機器、USB ケーブルによっては、充電できない場合もあります。
- 機器によっては、指定の充電方法以外は禁止されている場合があります。

1 本機左側面のUSB 充電端子カバー (CHARGE) を開き、市販のUSB 端子接続用充電ケーブルを接続する



2 USB 端子接続用充電ケーブルとUSB 機器を接続する

3 本機の電源を入れる 充電完了後は、USB ケーブルを抜く。

ヘッドホン (市販) で聴く

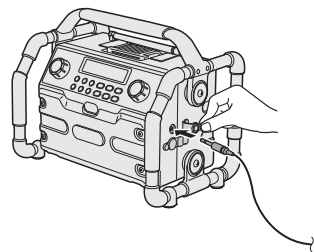
ヘッドホンやイヤホンを使って聴くことができます。

お願い

- ヘッドホン、イヤホンを接続する前に、必ず音量を下げてください。突然大きな音が出ると、聴力障害の原因となることがあります。

1 本機右側面のヘッドホン接続端子カバー (Ω) を開き、ケーブル (φ 3.5 ステレオミニプラグ) を接続する

ヘッドホンやイヤホンを接続すると、本機のスピーカーから音声は出力されません。



2 【音量ダイヤル】を回す + 方向へ回すと音が大きく、- 方向へ回すと音が小さくなります。

手元照明をつける

暗い場所でも操作できるように本機には手元照明が搭載されています。手元照明は、本機の電源を入れなくても点灯します。

【ライトボタン】を押す

10分後に点滅し、さらに1分後に消灯します。(オートOFF機能)

その他の設定

本機の情報表示したり、各機能の設定ができます。
お好みに合わせて設定してください。

1 【選局ダイヤル】を長押しする
「ピッ」と音がして項目選択モードになります。

2 【選局ダイヤル】を回す
液晶表示部に設定したい機能が表示されるようにダイヤルで合わせてください。

3 【選局ダイヤル】を押す
任意の設定モードになります。

4 お好みに設定する
【選局ダイヤル】を回して設定してください。
設定できたら最後に【選局ダイヤル】を押して設定を終了させてください。
「ピッ」と音がすれば設定完了です。

5 **↑ ↓ ← →** を選択して
【選局ダイヤル】を押す
(通常表示状態)

お知らせ

- 設定完了後、数秒で項目選択モードに戻ります。
- 10秒間操作がないと通常表示状態に戻ります。

■ 時刻表示を切り替える **TIM**
液晶表示部に「TIM」が表示されます。

設定値	内容
24H	24時間表示
12H	12時間表示

- お買い上げ時の設定は、「24H」です。

■ スリープ状態を設定する **SLP**
(設定した時間が経過すると、電源が切れます。)
液晶表示部に「SLP」が表示されます。

設定値	内容
OFF	スリープ機能をOFFにする
15m	15分後にOFFにする
30m	30分後にOFFにする
45m	45分後にOFFにする
60m	60分後にOFFにする
90m	90分後にOFFにする

- お買い上げ時の設定は、「OFF」です。

■ アラーム(ラジオ)、アラーム(ブザー)のスヌーズを設定する **SNZ**
(アラーム鳴動時、【電源ボタン】以外のボタンでアラームを停止後、設定した時間が経過するとアラームが再鳴動します。)
液晶表示部に「SNZ」が表示されます。

設定値	内容
OFF	スヌーズ機能をOFFにする
1m	アラームが1分後に再鳴動
3m	アラームが3分後に再鳴動
5m	アラームが5分後に再鳴動
10m	アラームが10分後に再鳴動
15m	アラームが15分後に再鳴動

- お買い上げ時の設定は、「OFF」です。

■ アラーム(ラジオ)、アラーム(ブザー)の作動時間を設定する **ALM**
液晶表示部に「ALM」が表示されます。

設定値	内容
1m	アラームが1分間鳴動
3m	アラームが3分間鳴動
5m	アラームが5分間鳴動
10m	アラームが10分間鳴動
15m	アラームが15分間鳴動
30m	アラームが30分間鳴動
60m	アラームが60分間鳴動

- お買い上げ時の設定は、「5m(5分)」です。

■ 時刻を設定する **CLK**
液晶表示部に「CLK」が表示されます。
(詳細設定については **P. 14** 『時刻を合わせる』をご参照ください。)
● お買い上げ時の設定は、「OFF」です。

■ 操作音を設定する **BZR**
液晶表示部に「BZR」が表示されます。

設定値	内容
ON	操作音が鳴る
OFF	操作音が鳴らない

- お買い上げ時の設定は、「ON」です。

■ FM放送のステレオとモノラルを設定する **F M**
液晶表示部に「FM」が表示されます。

設定値	内容
ST	ステレオ受信
MN	モノラル受信

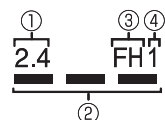
- お買い上げ時の設定は、「ST(ステレオ受信)」です。

■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、定格銘板に記載しています。



- ① 2.4 GHz帯を使用
- ② 2.400 GHz～2.4835 GHzの全帯域を使用
- ③ 変調方式がFH-SS方式
- ④ 電波干渉距離10 m以下

Bluetooth® 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先: **パナソニック株式会社**
パナソニック
お客様ご相談センター
P. 34

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- 分解/改造する
- 定格銘板を消す/はがす

■ 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- すべてのBluetooth® 機能対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信するBluetooth® 機能対応機器は、The Bluetooth SIG, Inc.の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であれば、一部動作する場合がありますが、機器の仕様や設定により、接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時にご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 使用可能距離

見通し距離約10 m以内で使用してください。間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

■ 他機器からの影響

- 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
 - 電子レンジ
 - デジタルコードレス電話機
 - その他2.4 GHz帯の電波を使用する機器の近く（ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）
 - 電波が反射しやすい金属物などの近く
- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。

■ 用途制限

本機は一般用途を想定したものであり、ハイセーフティ用途*での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセーフティ用途に使用しないでください。

*ハイセーフティ用途とは、以下のような、きわめて高度な安全性が要求され、直接生命・身体に重大な危険性を伴う用途のことをいいます。例：原子力施設における核反応制御/航空機自動飛行制御/航空交通管制/大量輸送システムにおける運航制御/生命維持のための医療機器/兵器システムにおけるミサイル発射制御など

- 長期間使用しないときや点検・手入れの際は、必ず電源プラグ、電池パック、バックアップ用乾電池を本機から抜いてください。

お手入れ

■ やわらかい布でふく

電源プラグをコンセントから抜き、乾いたやわらかい布でふいてください。

ぬれた布やシンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性のものは使用しない。（変色・変形・割れの原因）



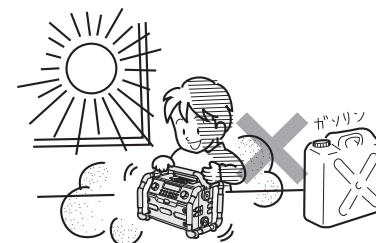
■ 定期点検の実施

- ネジのゆるみ、破損、動作の異常などがないか定期的に点検してください。
- ACアダプターが破損していないか定期的に点検してください。

保管

■ 以下の条件を避けて保管する

- 車中などの高温場所
- 直射日光のあたる場所
- 水や湿気などの多い場所
- ゴミやほこりの多い場所
- 子供の手の届く場所
- ガソリンなどの引火物がある場所



ご愛用者登録について

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理! エンジョイポイントをためてプレゼントに応募!

PC <http://club.panasonic.jp/>

携帯 <http://mobile.club.panasonic.jp/>



*ご愛用者登録には、CLUB Panasonic 会員への登録が必要です。
 ※登録時は、商品の品番を事前にご確認ください。
 ※このサービスはWEB限定のサービスです。

ご愛用者登録用の製造番号について

製造番号の欄には、次の6桁の数字を入力してください。

432513

※上記の製造番号は、今回ご購入の製品のみご利用できます。

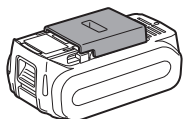
※他の製品をご登録の場合、WEBサイトをご参照ください。

⚠ 危険

- 当社充電工具専用の充電式電池パック以外を使わない。
改造した電池パック（分解して内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しない。
- 電池パックは、火への投入、加熱をしない。
発熱・発火・破裂のおそれがあります。
- 本体または充電器からはずした後は、電池パックにバックカバーを必ず取り付ける。
取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

長持ちさせるために

- リチウムイオン電池パックは使用後、**充電せずに保管**してください。
- 使用時以外は、ほこりの付着や短絡防止のためバックカバーを取り付けてください。



- 端子部に異物が付着している場合は、取り除いてください。

著作権など

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは一部記載していません。

電池パックの寿命

■ 寿命の目安 / 処置

フル充電しても初期の半分程度の時間しか聴けないときは製品寿命です。当社充電工具専用の電池パックをお買い求めください。当社指定以外の電池パックを使用された場合の事故・故障については、一切の責任を負いかねます。

ご注意

電池パックの中の蓄電池のみを交換したりリサイクル修理品の電池パックは使用しないでください。事故や故障のおそれがあります。

■ リサイクルについて

この製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済み電池パックは再利用しますので廃棄しないで買い求めの販売店へお持ちください。（電池パックは短絡防止のため、端子部に絶縁テープを貼ってください。）



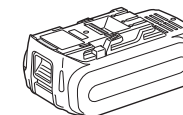
本体		
電源	パナソニック製 リチウムイオン電池パック	18 V、14.4 V (別売品)
	バックアップ用乾電池	DC 3 V (単3形乾電池 2本) (別売品) (市販品)
	家庭用電源	AC 100 V、50/60 Hz (付属のACアダプター使用)
消費電力 (ACアダプター使用時)	動作時	最大 約7 W
	待機時*1	0.04 W (100 V)
アンプ (実用最大出力)*2	18 V 電池パック使用時	9 W (4.5 W × 2)
	14.4 V 電池パック使用時	5.2 W (2.6 W × 2)
	ACアダプター使用時	3.4 W (1.7 W × 2)
端子部	USB充電端子	DC OUT 5 V、1 A
	外部入力端子 (AUX IN)	ステレオミニ (φ 3.5 mm)
	ヘッドホン端子	ステレオミニ (φ 3.5 mm)
チューナー	FM	プリセットメモリー登録数: 6局 受信周波数帯域: 76.0 MHz ~ 108.0 MHz (0.1 kHz ステップ)
	AM	プリセットメモリー登録数: 6局 受信周波数帯域: 522 kHz ~ 1629 kHz (9 kHz ステップ)
アンテナ	FM	アンテナ
	AM	フェライトバーアンテナ
スピーカー	スピーカーユニット	1ウェイ2スピーカーシステム フルレンジ: φ 89 mm × 2 (コーン型)
	インピーダンス	8 Ω
Bluetooth®	バージョン	Ver. 4.0
	送信出力	Class 2 (2.5 mW)
	対応プロファイル	A2DP
	ペアリング数	8 (最大)
	見通し通信距離	約 10 m
寸法 (幅×奥行×高さ)	350 mm × 240 mm × 280 mm (アンテナ除く)	
質量	約 4 kg (電池パックとバックアップ用乾電池を除く)	
許容動作温度	0 °C ~ 40 °C	

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

*1 「BLUETOOTH STANDBY」を「OFF」。USB充電端子に何も接続されていない状態で電源を切っている場合

*2 JEITA規格 10%ひずみ時の最大出力

電池パック								
適合電池パック	種類	リチウムイオン						
	電圧	14.4 V					18 V	
	品番	EZ9L41	EZ9L42	EZ9L44	EZ9L45	EZ9L46	EZ9L47	EZ9L50
使用時間 50 mW + 50 mW (FM受信時)	約 18時間	約 9時間	約 19時間	約 24時間	約 17時間	約 11時間	約 19時間	約 24時間



故障かな？と思ったとき

下記の点検と処置をお願いします。

処置後なお異常がある場合は、ただちに使用を中止してください。
保証書と、本体・充電器・電池パックをお買い上げの販売店へご持参ください。
(詳しくは P. 33)

症 状	考えられる原因	処 置
音が出ない	▶ 音量が最小になっていませんか？	▶ 【音量ダイヤル】で調整してください。
	▶ ヘッドホンを接続していませんか？	▶ P. 23『ヘッドホン(市販)で聴く』をご参照ください。
雑音が多い	▶ 近くにコンプレッサーや充電器、冷蔵庫などのノイズの元となる電気製品、または携帯電話などの電波を発する機器がありませんか？	<ul style="list-style-type: none"> • ノイズや電波を発する機器から、本機を離してください。ACアダプターを使用する場合、それらと異なる電源を使用してください。 • AM放送の場合 本機の向きを変えてみてください。 • FM放送の場合 アンテナの向きを変えてみてください。 • 建物や乗り物の中では電波が弱まり聞こえにくくなる場合があります。できるだけ窓際でお使いください。 • 本機に携帯電話を近づけると雑音の原因となります。離してお使いください。 • 電池残量が少なくなると、音が小さくなったりひずんだりします。電源コードをつないで使うか、電池を交換してください。

症 状	考えられる原因	処 置
電源が入らない	▶ 電池パックが入っていますか？ ▶ 電池パックの残量が十分にありますか？	▶ 十分に残量のある専用電池パックを使用してください。
	▶ ACアダプターがACアダプター接続端子とコンセントにしっかり差し込まれていますか？	▶ ACアダプターをACアダプター接続端子とコンセントにしっかり差し込んで使用してください。
アンテナを立てた状態で保持できない	▶ ネジがゆるんでいませんか？	▶ プラスネジを締め付けてください。
「AUX」や「BT」で聞いた場合に、音が小さい	▶ 外部機器の設定音量が小さくなっていませんか？	▶ 外部機器の設定音量を大きくしてください。
USB機器の充電ができない	▶ タブレットを充電しようとしていませんか？	▶ 一般的にタブレットは充電に必要な電流値が高い場合が多く、本機では充電することができません。(定格5 V/1 Aまで)
Bluetooth® 搭載機器が登録できない	▶ Bluetooth® 搭載機器のメモリーがいっぱいになっていませんか？	▶ Bluetooth® 搭載機器を再起動させ、メモリーを開放してください。
	▶ Bluetooth® 搭載機器の操作を間違っていますか？	▶ Bluetooth® 搭載機器の取扱説明書をもう一度確認してください。
		▶ Bluetooth® 搭載機器の状態を確認してください。
	▶ Bluetooth® 通信使用可能距離(約10 m)を超えていませんか？	▶ Bluetooth® 搭載機器を本機に近づけてください。

症 状	考えられる原因	処 置
Bluetooth 搭載機器と無線接続されない	Bluetooth 搭載機器が登録されていないか、Bluetooth 搭載機器から本機の登録情報が消去されていませんか？	登録をやり直してください。 P. 18
	本機が他の Bluetooth 搭載機器と接続されていませんか？	他の Bluetooth 搭載機器の電源を切ってください。 【Bluetooth ボタン】を長押しして、他の Bluetooth 搭載機器の接続を解除してください。
Bluetooth 搭載機器と接続されているが、本機から音が出ない	Bluetooth 搭載機器の操作を間違っていますか？	お使いの Bluetooth 搭載機器によっては音声出力を本機に設定しないと音が出ません。 Bluetooth 搭載機器に付属されている説明書などをお読みください。
Bluetooth 搭載機器と接続されているが、音が途切れる / 音が飛ぶ / 雑音が多い	Bluetooth 通信使用可能距離 (約 10 m) を超えていませんか？	本機と Bluetooth 搭載機器を近づけてください。
	本機と Bluetooth 搭載機器間に障害物はありませんか？	障害物を避けてください。
	電子レンジや 2.4 GHz 帯の電波を使用するコードレス電話などを同時に使用していませんか？	本機と Bluetooth 搭載機器を離してお使いください。
プリセットや時刻がリセットされる	• バックアップ用乾電池は入っていますか？ • バックアップ用乾電池が切れていませんか？	新しいバックアップ用乾電池を入れてください。
表示が変えられない (設定できない)	本機の誤動作	電池パックや AC アダプターを抜き再度装着し、電源を入れてください。

使いかた・お手入れ・修理 などは
■まず、お買い上げの販売店へ
ご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電 話 ()	—
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

30～32ページの表でご確認のあと、直らないときは、まず、電池パックをはずして、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	充電ラジオ&ワイヤレススピーカー
●品番	EZ37A2
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体6か月間(ただし、電池パック・その他付属品は消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます)
工場でのライン作業など連続長時間使用による故障及び損傷は対象外とさせていただきます。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

* 修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

* 補修用性能部品の保有期間 **5年**

当社は、この充電ラジオ&ワイヤレススピーカーの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後5年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によって、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は

パナソニック 総合お客様サポートサイト
<http://www.panasonic.com/jp/support/>

●修理に関するご相談は


パナソニック エコソリューションズ 修理サービスサイト
<http://sumai.panasonic.jp/support/repair/>

パナソニック お客様ご相談センター

365日 受付9時～20時

電話 パナは 365日
 フリーダイヤル  **0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

音声ガイドを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「550#」を押してください。
 (番号を押しても案内が続く場合は、「※」ボタンを押してから操作してください。)

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
 ■FAX フリーダイヤル  **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
 Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
 Open: 9:00 - 17:30
 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

パナソニック エコソリューションズ 修理ご相談窓口

365日 受付9時～20時

電話 パナニ イコー
 フリーダイヤル  **0120-872-150**
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■上記番号がご利用いただけない場合は **06-6906-1090**

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

＜無料修理規定＞

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離れた本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
 (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 (ホ) 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
 (ヘ) 本書のご添付がない場合
 (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 (チ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。
 (ご相談窓口一覧表を同梱の場合)
 お近くのご相談窓口は同梱別紙の一覧表をご参照ください。

修理メモ

- ※ お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

愛情点検

長年ご使用の充電ラジオ & ワイヤレススピーカーの点検を！



こんな症状はありませんか？

- ・コードやアダプターが異常に熱い。
- ・作動中に異常な音、振動がする。
- ・本体やACアダプターが変形していたり、こげ臭いにおいがする。

ご使用中止

事故防止のため、コンセントからアダプターを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

パナソニック株式会社
 パワー機器ビジネスユニット
 〒514-8555 三重県津市藤方1668番地
 © Panasonic Corporation 2015

Panasonic

持込修理

充電ラジオ&ワイヤレススピーカー 保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には
本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票裏面に記載し
ております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い
上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	EZ37A2		
保証期間	お買い上げ日から 本体 6か月間		
※ お買い上げ日	年 月 日		
※ お客様	ご住所 お名前 電 話 () -		見 本 様
※ 販売店	住所・販売店名 電 話 () -		

パナソニック株式会社
パワー機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地 TEL.(059)-228-1176

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

切
取
線